

まちづくり交付金評価委員会議事録

1. 開会の日時 平成21年11月17日(火) 午前9時00分～11時45分

2. 開会の場所 岡崎駅東土地区画整理事業 現場事務所

3. 出席者

(評価委員)

委員長：都市計画審議会委員・愛知工業大学工学部教授 松本 壮一郎

委員：都市計画審議会委員・岡崎商工会議所交通部会長 浅岡 林平

委員：NPO岡崎都心再生協議会事務局長・岡崎商工会議所情報文化部会副会長 白井 宏幸

委員：都市計画審議会委員・愛知県土地家屋調査士会岡崎支部長 長坂 宏子

委員：シビックコア地区まちづくり協議会代表・岡崎商工会議所副会頭 服部 良男

(事務局)

岡崎市企画財政部企画課 主幹 山本 公德

岡崎市企画財政部企画課主任主査 岡田 晃典

岡崎市都市整備部区画整理課主幹 稲垣 茂雄

岡崎市都市整備部区画整理課主査 犬塚 浩彰

岡崎市市民文化部安全安心課主幹 小林 昭彦

岡崎市市民文化部文化国際課主幹 小野 鋼二

岡崎市土木建設部道路維持課主任主査 梶野 篤志

(傍聴人)

1名

4. 議事要旨

現地視察 自転車駐車場予定地 ～ 駅前広場 ～ 自由通路

1 「岡崎駅東地区都市再生整備計画」の説明

2 「事後評価手続き」の審議

(1) 方法書の報告

(2) 成果の評価について意見聴取

(3) 実施過程の評価について報告

(4) 効果発現要因の整理について意見聴取

(5) 事後評価原案の公表について報告

3 「今後のまちづくり方策」の審議

(1) 今後のまちづくり方策について意見聴取

(2) フォローアップ計画について意見聴取

4 評価委員会後のスケジュールについて説明

5. 配布資料

・次第

・資料1 岡崎駅東地区におけるまちづくりのあらまし

・資料2 まちづくり交付金事後評価方法書

・資料3 まちづくり交付金事後評価シート原案

・資料4 まちづくり交付金事業評価委員会補足説明資料

6 . 議 事 要 領 (開 会 午 前 9 時 0 0 分)

事 務 局

おはようございます。

昨日に引き続きまして、まちづくり交付金評価委員会を開催いたします。

本日は、岡崎駅東地区の事後評価につきまして、ご審議いただきます。

本日のスケジュールでございますが、お配りしてあります次第に従いまして、この後、自転車駐車場予定地、駅前広場、自由通路を観ていただき、その後、審議に入って参ります。

それでは早速、現地を観ていただきます。

(現 地 視 察)

事 務 局

お疲れ様でございました。

それでは、早速審議に入りますので、先に資料の確認をお願いします。

お手元の方に、次第と資料 1、2、3 がございます、また追加で資料 4 をお配りしています。

ただいま自転車駐車場の平面図をお配りしています。

次第と資料 1、2、3、4、自転車駐車場平面図となりますが、よろしいでしょうか。

それでは、今後の議事については、松本委員長にお願いいたしますので、よろしくお願いいたします。

松 本 委 員 長

限られた時間でございますので、早速審議に入りたいと思います。

最初に、岡崎駅東地区の都市再生整備計画について説明をお願いします。

事 務 局

区画整理課です。よろしく申し上げます。

それでは、岡崎駅東地区の都市再生整備計画の概要について説明いたします。

(パワーポイント及び配布資料に基づき「岡崎駅東地区 都市再生整備計画」について説明)

松本委員長

岡崎駅東地区の都市再生整備計画と同地区がどのように変化したか、について説明がありました。

何か質問ございますか。

申し遅れましたが、次第の方に「報告」や「説明」とありますが、時間短縮のために、「意見聴取」のところに時間を費やしたいと思いません。

それでは、2番目の事後評価手続きの審議に入りますが、ここでは、事後評価手続きが妥当なものであったか、について審議を進めます。

まず、事後評価手続きがどのように行われたか、について説明をお願いします。

事務局

それでは、方法書の説明をいたします。

(パワーポイント及び配布資料に基づき「方法書に従って事後評価を行った旨」について説明)

松本委員長

ただいま、方法書に沿って事後評価を行った旨、説明がありました。何か質問はございますか。

具体的な内容は、評価の方で説明していただきたいと思えます。

それでは、次の成果の評価について説明をお願いします。

事務局

次に、成果の評価について説明いたします。

(パワーポイント及び配布資料に基づき「指標設定の考え方」「目標達成度の理由」について説明)

松本委員長

ただいまの説明では、すべての数値目標を達成できるとの見込みでした。時間をかけてご審議願いたいと思えます。

何か質問はございますか。

白井委員 二つ質問があります。まず、資料4の17ページでJR岡崎駅とそれ以外の市内駅の比較で、JR岡崎駅が突出して伸び率が大きい要因として、駅周辺整備の影響が大きいとされていますが、JR自体の電車の利便性の向上というのは、それほど影響はないのですか。

事務局 JRの駅自体についてもバリアフリーの工事を行っています。

白井委員 駅というよりも列車の本数、ダイヤの体系、料金体系などハード面でないJR自体の利便性の向上というのは、こういったものに含まれているのでしょうか。

事務局 含まれていません。

白井委員 ようするに、ハード整備とJRのソフトがうまく連動して乗降客数の増加につながっているという分析までは入っていませんか。

事務局 今回は、入っていません。

白井委員 もう一つ、21ページのシビックセンターのイベント集客数ですが、これは、入場イベントを対象とされていますか。

事務局 文化国際課でございます。これにつきましては、コンサートホールの入場者プラス、交流広場でのまちづくり支援としてスプリングフェスティバル、夏祭り、フリーマーケット、イルミネーションフェスティバルの人数となっていて、増減につきましては、やはり天候などで左右されて波がありますが、一応、増加傾向となっています。

浅岡委員 同じく資料17ページの関連の岡崎駅の乗降客数ですが、岡崎駅西口利用者の乗降客数が増えたという影響はありませんか。

事務局 岡崎駅東、西ともに増えていると考えます。以前、調査をしたことがあり、岡崎駅東、西で6対4という割合で利用されている結果があります。双方、どの程度増えているかはわかりませんが、おそらく両方とも増えているのではないかと考えます。

浅岡委員 もう一つ。デンソーをはじめとする企業の社員の送迎バスが西口の方に整備されていて、東側の方は非常に苦しいという状況の中で、西口の方に相当のバスの乗降客があると認識していますが、そのような影響により駅の乗降客数が増加したことは考えられませんか。

事務局 影響はあると思います。ただし、西口にどれだけ増えたかというデータは取っていないです。

浅岡委員 それに関連して、そういう送迎バス基地、いわゆる一時停止場所が東口の方で見当たらない。変更というか設置する余地が有るのか無いのか教えてください。

事務局 基本的なお話をさせていただくと、岡崎警察を通じ愛知県公安委員会と打合せさせていただきましたが、バスについては公共バスしか駄目だと、送迎バスについての乗降場を整備してはいけないという基本線を言われております。

しかし、どうすればよいかという話が出てきますので、市へ問い合わせのあった業者につきましては、例えばアイシンやソニーについてですが、アイシンについては別の場所を確保していただきまして、駅前広場外で乗降場を確保していただいています。ソニーは時間帯を整理するとか、これはあまり良くないですが、駅前広場の直ぐ南に12mの道路があるのですが、その道路に止めている方々もいます。駅前広場の直ぐ目の前のニイミ時計さんの前に送迎バスを止めている方もいます。このような方法で、送迎の業者の方がそれぞれ努力していただいている状況です。ただし、困るという話は時々あります。以上が

現在の状況です。

浅岡委員 なぜ、許していただけないのか。

事務局 駅前広場内のバスについては、公共的なものについてのみ良いという警察の判断を受けています。

浅岡委員 狭い道路に止まって乗降する方が、本当は危ないし邪魔ですよ。バスの前に人が出てきたりして。

事務局 あとは、駅前広場の中央の島の一般乗降場に止めている方もいます。

浅岡委員 先般、東岡崎駅の整備計画のお話を聞く機会がありまして、北側に最初から観光バス等の大型バスの乗降の計画がありました。一般乗降場の横に計画されていまして。そのような話があったものですから、西口だけでなく東口へもそのような計画があってもよいのではないかと思います。

服部委員 資料4の18、19ページのにぎわい満足度について、3項目の結果が40%から68%まであるわけですが、どのように足して合計57%としていますか。

事務局 項目1番で40%、2番で68%、3番で63%となっており、単純に三つを足しまして3で割っております。

 本来からいうと、1番で40%しかないので良いのかという問題は確かにあると思います。

白井委員 | にぎわい満足度というのは、昨日の指標には無い定性的な匂いがする
というか、にぎわい満足度の「にぎわい」というのは、よくまちづ
くりの中で定義されるものですが、「にぎわい」とは何かといった時
に、アンケートを行うときに「にぎわい」の定義がバラバラの中での
アンケートとなってしまふ。まちづくりの中でにぎわいの創出といえ
ば、名駅のコンコースが「にぎわい」といえるし、岡崎市の花火大会
が「にぎわい」ともいえるなど、そのようになってしまふ。それがま
ちづくりにどのように関わってくるのか、明確でないのが「にぎわい」
という言葉にあって、その言葉から尚且つ「にぎわい満足度」を答え
るときに、自分はどのように答えてよいか難しい。
サンプルの取り方は、配布と手配りとどのように行っていますか。

事務局 | 平成16年度は、総代さんを通じて全戸配布しております。平成2
1年度につきましては、シビックセンター及び駅周辺に関連する市役
所に来ている業者の方々に配りまして、アンケートを取っています。

白井委員 | 配り方は問題ないと思いますが、設問の仕方が非常に難しい。

事務局 | 「にぎわい満足度」という言葉自体は、確かに難しかったかなと思
います。内容についても3つテーマに分けて行いましたが、それぞれ
の方の取り方によって違うとお思います。例えば、1番の「誘客を担
うような地区がある」の一つとっても、この「誘客」を飲み屋と考
える方もいれば、シビックセンターみたいなもの考える方もいますし、
個々で取り方が違うものですから、確かに分かりづらかった面はあ
ったかなと思います。

松本委員長 | 従前値と評価値とも同じ質問をしているのですか。

事務局 | 平成16年度も平成21年度も同じ質問をしております。

松本委員長 | それで、やはり「にぎわい」というものをテーマにして質問してい

るのですか。

事務局 「にぎわい満足度」を大きなテーマとして、質問の内容については、1から3番の質問としています。

服部委員 バス自体の乗降客数は増えているのですか。名鉄バス及びJRバスのデータは取っていないのですか。

事務局 区画整理課では取っていません。JRバスについては朝と夕方みの運行となっていますので、JRバスを利用する方は少ないと思います。名鉄バスにつきましては、昔は駅に3箇所とUFJ銀行の前に1箇所の計4箇所の乗降場がありましたが、それを今回統合いたしまして5箇所の乗降場を確保しているので、市の希望ですが、1箇所増えている効果を是非出してほしいと思っています。例えば今後、東の緑ヶ丘の方への便を充実させるとか、かなり東の方から利用される方が多いと聞きますので、現在バス路線の拡充などの希望を出しております。

服部委員 数字は掴んでいませんか。

事務局 掴んでいません。

服部委員 名鉄は掴んでいるのでしょうか。

事務局 名鉄はおそらく掴んでいると思います。

服部委員 例えば、岡崎駅からイオンへバスが走っていますが、岡崎駅の乗降客数の増加が必ずしも駅周辺整備だけでなく、イオンの影響もデータに入っていると良かったと思います。

事務局	<p>現実としては、イオンの影響で増えているところもあると思います。データは名鉄に聞けば、たぶん有ると思います。</p>
服部委員	<p>シビックセンターのにぎわいの影響もあるし、イオンの影響も有ると思いますし、国への報告はこれでよいと思いますが、更なる分析が今後の課題であると思います。</p> <p>あともう一点ですが、東岡崎駅よりも岡崎駅の方が駐車場料金が安いこともあって、幸田町の方で岡崎駅の駐車場に車を止めて岡崎駅から名古屋などへ出て行く方が増えている。今後のまちづくりへの駐車場の影響などの分析に、そのようなデータは出しにくいと思いますが、掘っていませんか。</p>
事務局	<p>駐車場については、民間駐車場がかなり点在していることもあって、それぞれの管理者へ確認を取る方法となるかと思います。あと、幸田町の方がこちらを利用しているというデータは、なかなか掘みづらいと思います。</p>
白井委員	<p>一定エリアを決めて、月極め駐車場と時間貸し駐車場を調べて、特に月極めを借りている方は、電車利用者が多い。東岡崎駅は駐車場が足りていない状況がある。ちなみにここはどのような方が借りているのですか。</p>
浅岡委員	<p>企業が駐車場を借りています。</p> <p>幸田方面からの需要が多いとの話しありましたが、今度、幸田駅と岡崎駅との間に相見駅ができるのですが、その辺りの住民に相見駅をどの程度利用されますかというアンケートを取ったそうです。その中の相見駅を利用しない理由の中に、岡崎駅の方が快速が止まって便利との声がある。相見駅から乗って岡崎駅で乗り換えるぐらいなら、岡崎駅に駐車場を借りて、岡崎駅から乗った方が利用しやすいというデータがあり、それに関連して、エリア外ですが南と東の方への道路の整備が不十分に思います。結局、東岡崎駅と同じように、駅の周りだ</p>

けきれいにして、それにつながる部分が細かったり途切れたりするので、これに関連して整備していかないと効果がないと思います。

事務局 確かに一つ例をとりますと地区の南側の岡崎幸田線がありますが、歩道も狭くなっているところもありますし、あとJRを越える東西道路が少ないこともよく言われています。

浅岡委員 結局、住宅地の中の抜け道を走ることとなっています。

事務局 当然、今後の課題だと思っています。

浅岡委員 なんとか国道248号までつなげば北側へはアクセスしやすくなるが、南へは岡崎幸田線をしっかり整備しなければいけない。

服部委員 岡崎幸田線沿いは、マンションをはじめとする住宅地が増えている。

事務局 今後も増えると思います。

松本委員長 地区内のマンションも増えているのですか。

服部委員 ここではないですが、南側のJR東側に非常に大きなマンションが建っています。まだまだ建ちます。南東側ですね。100戸単位で建っていきます。

松本委員長 説明の中に、「区画整理により人口が増えた」との説明がありました。が、保留地の処分が要因ですか。

事務局 本地区は保留地はありませんので、区画整理を進めることで、建物移転の進捗や駐車場から住宅への転用などによる要因です。

長坂委員 やはり、JR岡崎駅を中心としたエリアは、非常に需要があると思

います。なぜかという本数が増えたとか駐車場があるとか様々な要因があるかと思います。ちょうど私の事務所は北に位置しているのですが、名鉄で待ち合わせるかJRで待ち合わせるか迷うところで、マンションも立地しているところもありますので、もう少しにぎわいがあると良いです。名古屋から帰ってくると何もないために、だから名古屋で買ってこよう、名古屋で食事していこうという発想になってしまうので、やはり岡崎にお金が落ちるようなにぎわいがあると良いと思います。

事務局 同様に思います。

松本委員長 そのような施設を誘導する工夫はありませんか。

事務局 具体的に市としては、駅前及び歩行者重視道路がありますが、歩行者重視道路沿いにつまましては、1、2階を店舗にして3階を住居というような建築をお願いしています。ただし、何らかの補助があるわけでもありませんし、お願いしかできません。実際に、お願いを受け入れて建てていただいている方もかなりあります。

松本委員長 容積率を上乗せするとかないですか。

事務局 そのような緩和があると良いですが、そういうものが無いので、「あなた方はお願いばかりしている」と言われたこともあります。

長坂委員 自由通路ですが、せっかくあれだけの施設があるので、それを利用したにぎわいがあると良いと思います。

松本委員長 シビックセンターへのアクセスは、駅から歩く方が多いか、車の利用が多いか、どちらですか。

事務局 コンサートの内容によりましては、遠隔地からの利用もありますの

で、駅から歩行者重視道路の利用を誘導しなければいけません、ただし、岡崎市内の方は、圧倒的に車の方が多いです。

松本委員長 シビックセンターができたばかりの時は、コンサートホールができたのかと思いましたが、シビックセンターまでに寄る場所がない。散歩できるような雰囲気がほしいような気がします。

事務局 来年度、シビックセンター南側に5号公園を造る予定にしていますので、また雰囲気が変わると思います。あと、私どもの方では、各コンサートなどの事業を引き続き行っていきたいと思っております。確かに名古屋の栄とはぜんぜん違いますが、更に努力していきたいと思っております。

事務局 今、JR岡崎駅は、通勤通学の駅になってしまっており、帰りに飲み屋に寄っていきこうという方が少ないので、需要が少ないし、飲み屋の数も少ない。ちょっと寄っていきこうという店ができれば、また少し変わってくると思います。現在は、駅を降りて直ぐに家に帰ってしまう方が多いと思います。お昼も食べる場所が少ない現状もあります。

長坂委員 少しの待ち時間に食事するなどの場所があってもよいと思います。

松本委員長 駅に降りても住宅地に來たような感じがします。何か、岡崎市では飲み屋さんをつくってはいけない条例でもあるのかと思うぐらいです。

白井委員 よく消費者アンケートや中心市街地アンケートであるのですが、消費者の求めるものとビジネスが成り立つことは一概に同じとは言えない。家賃とのバランスが影響する。税金が安くなるとか補助的なものがあればなおよいが、それが原因ではなくて、基本的には人が集まってそこで商売が成り立てば出店するが、成り立つかどうかの状況を現

在は見ている状況ではないかと思います。

松本委員長 248号程の交通量があれば成り立つのですか。

白井委員 ファミリーレストランのように大規模なものと違って、今検証しているのは、スモールアンドスマートビジネスといって、小さい店で賃金を下げて、若い方が1人、2人でやれるような店舗を借りつけるにはどのような施策を入れ込んで、彼らがビジネスとして成り立たせるか。

ビジネスの形態が変化してきていて、売り上げをかなり大きく目指すのではなくて、自分が生活できる範囲で成り立てばよいという考え方がある。店舗を貼り付ける施策としては、そのようなスモールアンドスマートビジネスを支援していくソフト的な体制が必要ではないかと思います。商売を行っていく方は知恵を持っている。自分の土地、建物、商売をわかっているので、そのあたりの施策を入れていかないと難しいと思います。

現在、ロードサイド型の大型店舗が流行った時代が廃れ始め、時代が変わってきているので、このような小さいビジネスを支援できたらよいと思います。

松本委員長 ということは、歩行者重視道路はそのようなイメージとなると思います。

他にご質問はございませんでしょうか。

それでは、次の実施過程の評価について報告をお願いします。

事務局 次に、実施過程の評価について説明いたします。

(パワーポイント及び配布資料に基づき「モニタリング」「住民参加プロセス」について説明)

松本委員長 実施過程の評価ということで、住民参加を取り入れたまちづくりの取り組みについて報告がありました。

質問等ございませんか。無いようなので、ここで10分の休憩を取りたいと思います。よろしくお願いします。

(休憩)

松本委員長 それでは、引き続き進めたいと思います。次に効果発現要因の整理について説明をお願いします。

事務局 次に、効果発現要因の整理について説明いたします。
(パワーポイント及び配布資料に基づき「庁内会議体制・実施時期」「指標ごとに効果発現要因」について説明)

松本委員長 各事業が各指標にどのように貢献したかについて説明がありました。何か質問はございますか。

白井委員 資料30ページの下水道事業がイベント来場者数にどのように間接的に貢献したか教えてください。

事務局 下水道事業や区画整理事業などにより居住環境が改善されたことで人口が増加し、イベント来場者数に結びついたということです。

白井委員 わかりました。それから、シビックセンターの交流広場の施設改修とは何を行いましたか。

事務局 電源設備を整備して、イベントなどを行いやすくしました。

白井委員 資料28ページのにぎわい満足度の効果発現要因の整理のところで、「公園整備や地域生活基盤施設のポケットパーク、案内板等の歩行者重視道路の遅延により、にぎわい空間が不十分となった」とありますが、広場をつくれれば賑わいが創出されるものではないということは、いろいろなところで言われていることで、広場をつくることで治安が

悪くなることがあっても、賑わいが創出されることは、はたしてイコールなのか、よく考えなければならない。

広場を整備するだけでなく、そこにどういう人たちをどのように集めるか、対象となる人たちとそこで何をして集めたいか。やはり人と人が出会ったり、人と人がつながったり、人と事がつながっていかないとにぎわいは創出されない。

ここで、ポケットパークをつくりました、賑わいを創出していきます。といったことは、報告書としては良いのかもしれませんが、実際にはどのように集めるかを検討することも必要ですし、市民側のまちづくり組織などが現実的に何を行うのか、町内会、婦人会、老人会などの組織で広場、公園の用途を考えていくことも必要です。シビックセンターの交流広場が市の中でも理想型で、使い方をサポートし、施設も充実していくことがよいと思います。

管理する側の論理で決められてしまうと活用しにくくなって、ただの不労者の集まりの場になってしまう。地元の意見を聞いて進めていく必要があると思います

事務局

ポケットパークを例に説明しますと、実は今年度実施設計を行っており、将来の管理は都市計画課を含めて相談しています。公園緑地課と道路維持課は対象としていません。管理については、出会いの駅おがざき協議会という去年新しくできた組織がありまして、そちらの方々と今後どのように管理していくか、どのように利用していくかを相談しながら進めています。

白井委員

ということは、公園法では縛られないということですか。

事務局

公園緑地課にお願いすると、公園法で縛られる可能性がありますので、公園は最初から管理の対象から外しています。

白井委員

それは、すばらしい。

事務局 都市計画課でいくつか持っているところはあるのですが、区画整理事業中は区画整理課の管理ですが、区画整理事業終了後は都市計画課での管理を調整している最中です。

白井委員 商業公園としての位置づけですか。

事務局 公園よりは、融通性のあるものにしていきたいと考えています。

松本委員長 他に質問ございませんでしょうか。それでは、次の事後評価原案の公表について報告してください。

事務局 次に、事後評価原案の公表について説明いたします。
(パワーポイント及び配布資料に基づき「公表方法・期間・内容と寄せられた意見」について説明)

松本委員長 公表時に出た住民の意見について、何か対応したということはあるますか。

事務局 意見をされた方への直接的な返事はしておりません。どのような意見が出たかについては、今後、ホームページなどに載せていきたいと考えています。

松本委員長 以上の説明がございましたが、何かご質問ございませんでしょうか。
それでは、以上の事後評価手続きにつきまして、「方法書に沿って事後評価が行われたこと」、「住民参加プロセス、持続的なまちづくり体制に取り組んでいること」、「効果発現要因は適切に整理されていること」、「事後評価原案の公表は適切に行われたこと」などを勘案し、事後評価手続は適切に行われ、妥当なものと評価してよろしいでしょうか。

委員全員 よろしいです。

松本委員長　それでは、次に今後のまちづくり方策について審議いたします。ここでは、「5年間のまちづくり事業を踏まえて、課題の変化をどのように捉え、今後のまちづくりにどのように生かしていくか」について、ご審議願います。

それでは、説明をお願いします。

事務局　今後のまちづくり方策について説明いたします。
(パワーポイント及び配布資料に基づき「庁内会議体制・実施時期」「まちの課題の変化」「今後のまちづくり方策」「フォローアップ計画」について説明)

松本委員長　「岡崎駅東地区の課題の変化」「事業効果を持続させる方策や改善策」「今後のフォローアップ計画」について説明がありました。

何か質問ございませんでしょうか。

合わせて最後の議案にありますように、今後のまちづくりに向けてのご意見がございましたら、いただきたいと思います。

浅岡委員　私、前々から思うところがございまして、JR岡崎駅の駅舎の駅ビル化といっはなんですが、37万人都市であるわけですから、これだけ区画整理が進んでいる中で、まずは駅舎を考えなければいけない。知人が駅を見て、本当に岡崎市は37万人いる都市なのかといわれることが多い。康生地区に連れて行っても沈んでいますから、本当にそのような人口がいるのか、というイメージで帰っていくようなことがありますので、是非、将来的に駅舎の整備も含めて計画する必要があると思います。

事務局　同じ意見を持っております。JRにはお願いをしていますが、JRとしてはお金が無いとの回答で、しばらくは駅舎の整備は無いとの回答です。ただし、今のままで良いのかという話を、今後はもう少し強く押していきたいと考えています。確かに今のままだとJRの運転手

の仮宿舎が一番北側にありますが、その機能だけを動かすという可能性があるので、その機能だけでなく、何階建てとは言いませんが商業ビルを建てていただいて、是非、賑わいを発展させるようなことにしていきたいという希望を、今後JRに投げかけていきたいと考えています。

浅岡委員 岡崎駅に着いたら、お土産も買う場所が無い。これでは、恥ずかしい限りで、是非、実現していただきたいと思います。

事務局 引き続き投げかけていきたいと思います。

白井委員 イベント来場者で来場者数総数も大切ですが、一時に1,000人集めるよりは、毎週100人ずつ集めるようなイベントの方がよい。また、広域的なという言葉が先ほどから出ているが、「広域」をどこに設定しているのか、100万人を広域とするのか、50万人を広域とするのかによって異なりますが、キャパシティがそんなに無いところに一度にたくさん人を集めるよりは、常時、人を集める、毎週何曜日に何を行っているというような事業のやり方にしてはどうか。それから、大きなお金でタレントを呼んだとします。しかし、翌年になると市役所の担当者は誰を呼んだか覚えていない。一時的に500人、1,000人と集まっても覚えていない。それよりは、市民の、例えば小学生、中学生、高校生がステージに立つ、彼らは100人か50人かもしれませんが、記憶に残っていくことが、価値あるまちづくりだと考えます。1年で忘れるのではなく、10年間忘れない記憶に残る方が大切だと思います。だから、大量に人を集めるという視点は、これからは違うと思います。特に地方都市は、リピータが大切です。37万都市であれば、リピータを増やすような地元で根ざした事業が必要と考えます。去年、何をやったか忘れてしまうようなイベントはやめた方がよいと思います。それよりは根付かした事業を行っていくほうが良いと思います。イベント来場者数という考え方を単に数字で判断しないでほしいです。

長 坂 委 員 | 今回の事業で区画整理も含めた事業でまちづくり交付金を活用した
ということですが、都市計画はいつ頃終了する予定ですか。

事 務 局 | 区画整理事業は、平成26年度の完成を目指し行っています。実態
としてのお話をしますと、JRの立体事業が残ってしまう可能性が強
いです。JRに2本通さなければならないので、もう4、5年は延ば
す必要があるのかなと考えています。しかし、出来るだけ早く終わら
せることも重要であり、区画整理の場合は最終的に清算金が発生しま
すので、それをいつまでも伸ばすというのは良くありませんので、そ
のことも合わせて、今後、何年まで延期するかということを検討して
いきたいと考えています。

長 坂 委 員 | 愛知環状鉄道の機能ですね、豊田、瀬戸といったところからも人が
多く来るような、愛知環状鉄道の利用増といったことも視野に入っ
ているのでしょうか。

事 務 局 | 愛知環状鉄道については、いつになるかわかりませんが、区画整理
区域内で少し用地が確保してありまして、現在は片側ホームになっ
ていますが、両側レールが入るような島ホーム化と出来るような用地が
確保されています。今は普通しかございませんが、島ホームになれば
快速などが配備されるのではないかと聞いています。あとは、愛知環
状鉄道がどれだけお金をかけて整備されるかということですが、現在
は、土地確保の要請しかされていない状況です。複線化の検討は進め
ていると聞いています。

長 坂 委 員 | もう一つですが、先ほど浅岡委員さんからお話ありましたが、全体
のアクセス道路が悪いような気がします。特に岡崎刈谷線の改善が必
要と考えます

事務局 信号機等による制御については交通の流れを良くする事となりますが、地元要望もありますし、警察の方へ要望している段階です。当然、県事業となりますが岡崎刈谷線が、何時もラジオで渋滞の放送がされていますが、4車線化や岡崎刈谷線に頼らないJRの横断という意味では、区画整理の進捗が大きな要素となってくると思います。

服部委員 昨日の康生地区でもお話ししましたが、道路整備だけがまちを良くするという視点が、今後変わってくると思います。経済より教育・文化という視点へ変わっていくことが必要。学んでよいまち、働くまちというまちが一つのキーワードとなってくるのではないかと思います。その学んでよいまち、働くまちの中に経済が発生する。今までの働く場所は、工場であったり物づくりであったりしたが、今後は、環境系、文科系、教育系の働く場所が増えてくるのではないかなと思います。働きながら住めるまちが今後のキーワードになるかと思っています。その中でもキーワードは「女性」で、女性にとって学びやすいまち、働きやすいまち、住みやすいまちということを経後の計画には入れていく必要があるのではないかと思います。それが、道路整備イコール経済成長という時代からの転換だともいいます。現在、商業施設が未だ無いことをうまく使って、人集めをしてはどうかと思います。個人的な視点ですが、そう思います。

松本委員長 他にございませんでしょうか。貴重なご意見ありがとうございました。それでは、今後のまちづくりに向けて、適切に方策が検討されていると評価してよろしいでしょうか。

委員全員 よろしいです。

松本委員長 それでは、最後にこの後のスケジュールについて説明してください。

事務局 最後に、本日の評価委員会以降のスケジュールを説明いたします。

(パワーポイント及び配布資料に基づき「国への報告、評価結果の公表方法、公表時期について説明」について説明)

松本委員長 以上で岡崎駅東地区に対する当委員会の審議は終了します。長時間、お疲れ様でした。それでは、事務局にお返しします。

事務局 ありがとうございました。2日間ご苦労様でした。昨日からご審議いただきましたけれども、企画課なりに見えてまいりましたのは、これまで培ってきた部分と、最後に服部委員が言われましたように、新しい、次に繋げるまちづくり、そういったものへのシフトというのが、我々行政の役割となっていくと思います。いろいろなところで宅地開発を進めていますが、その場面でも環境に切り口を入れるとか、安全に切り口を入れるなど、30年、40年先を見たようなまちづくりの指導や関与といったものが、我々の取組みと理解しております。

2日間でいただきました意見等につきましては、十分指示等させていただきます。次のまちづくりに活かしていきたいと思っております。

本当に、2日間、ありがとうございました。

全員 ありがとうございました。

事務局 最後に一つ。一応、任期を3月31日とさせていただきます。これにつきましては、国への報告等、万が一つつがなく行かない場合に、再審議等がございますので、3月31日とさせていただきます。よろしく申し上げます。

(閉会 午前11時45分)